

マルキュウカップ
第40回山口県小学生バレーボール選手権大会県決勝大会
競技・審判上の注意

- 1 本大会は、2025年度公益財団法人日本バレーボール協会の6人制規則および小学生バレーボール競技規則による。選手は14名以内とする。
- 2 試合球は、男子の部および混合の部はモルテン、女子の部はミカサを使用する。
- 3 サービスゾーンは、エンドラインから6.5m以内の範囲とする。
- 4 受付時には、参加申込みメンバーの変更有無にかかわらず「エントリー変更届」を提出すること。なお、メンバーの変更がある場合は、JVA-MRSの「チーム加入選手一覧」を添付すること。
- 5 監督・コーチ・マネージャーは、マークを必ず左胸に着け、統一した服装（上は襟付きのもの、下はズボン形式で短パン、キュロットは不可、ライン・ロゴ等も統一）でベンチ入りすること。
- 6 ベンチスタッフは、JVA-MRS登録並びに宣誓書に署名しているものに限る。また監督は、今年度の監督研修受講者であること。
- 7 監督・コーチ・マネージャーのうち一人は、公益財団法人日本バレーボール協会ならびに日本小学生バレーボール連盟が共催する指導者研修会の受講証明書を所持し、試合中には胸に下げていなければならない（日スポ協指導員資格も可）。なお、受付時に本人が受講証明書（資格証）を提示すること。
- 8 競技フロアに入れるのは原則として、エントリーされた者のみとする。
- 9 次の試合のチームは、前試合の両チームがコートを退き、コートチェック終了後に競技役員の指示に従ってコートに入ること。
- 10 公式練習前の練習は、同一フロアのいずれかのコートが試合中であればパスのみとする。また、ネットを利用した練習は禁止する。
- 11 試合中、ボール籠は防球フェンスの外または壁際に置くこと。また、ドリンクなどの荷物はアップゾーンに置くこと。なお、大会1日目は各会場本部の指示に従うこと。
- 12 控えの選手は、座って観戦する。アップをする場合はアップゾーンで行うこと。
- 13 リードするチームが1・2セットは11点、3セットは8点の時にテクニカルタイムアウトを健康管理のために適用する。ベンチスタッフは選手の健康管理を実施し、また、給水を妨げてはならない。なお、給水場所はベンチ横とする。
- 14 審判はJVA公認審判員が実施し、原則として準決勝、決勝以外は相互審判とする。各試合の審判（ファーストレフェリー・セカンドレフェリー・ラインジャッジ・スコアラー）は、組合せ表に記載の通りとする。なお、細部については審判委員長の計画による。
- 15 派遣審判員及び帯同審判員は、審判服を着用すること。ただし審判服を保有しない者については、上が白の襟付きシャツ、下は紺のズボンも可とする。
- 16 各チームとも競技の円滑な進行に協力すること。
- 17 各チームの横断幕の掲示は、自チームの試合時のみとする。
- 18 体育館での上下足の区別を必ず行うこと。
- 19 ゴミは、各チームで必ず持ち帰ること。
- 20 体育館は公共の施設である。マナーを守り大切に使用すること。また、電源の使用は固く禁じる。